

更年期障害 症例 1

女性 五六歳 事務員

主訴 後頸から後頭部にかけてフワフワする（一年半前から）、肩こり（十年以上）

現症 顔のほてり、風邪ひき易い、手足のほてり、冷え、眠りが悪い、頭重、手足のむくみ、便秘。

一年半前より降圧剤服用中、他にコレステロール降下剤。一ヶ月前の血液検査では特に異常なし。二年前、子宮筋腫手術（子宮全摘、右卵巢全摘出）閉経五四歳。

所見 「血虚、弱短」、腹診全て（+）、「然谷」（+）、「僧帽筋硬化」。

治療 「扁桃処置」、「強心処置」（三陰交・陰陵泉・労宮）、「虚血処置」、「自律神経処置」。

経過 三回目（一〇日目）眠りはよい、便秘もよくなっている。頸から肩こり、後頸部重い、風邪。「やや血虚、やや弱短」。同前処置。

七回目（三八日目）頭重以前よりよい。足底部重だるい、眼の疲れ、「虚、弱短」はなし。「扁桃」、「腎虚」（副腎処置）、「帯脈」。

八回目（四五日目）頸から肩が大分軽くなってきた。頭重もよい。風邪気味。「沈遅、胃気弱（中脉弱）」、「火穴」やや（+）。「扁桃」、「腎虚」、「帯脈」、「胃の気三点処置」。

一〇回目（五八日目）大分良くなっているが、後頭重い、便秘はない。「弱短」なし、「細やや遅」、「胃気弱」、「血虚」、「然谷」（+）、「左天枢」（+）。「扁桃」、「帯脈」、「副腎処置」、「肝実処置」。

二〇回目（一六四日目）下肢重だるいのは大分良くなっている。秘結なし。目の疲れ、風邪ぎみ。脉を診ると「血虚」が改善されてきている。「扁桃」、「帯脈」、「副腎処置」。以後加療中。